



講師の
パルコープ常勤理事
桝村 藤夫

産地訪問・川西有機生産者組合(08年10月8日)
産地訪問・美吉野農園(08年11月11日)

いま、消費者と生産者が分断されていると思います。消費の面では価格競争が激化し、生産をとりまく環境は年々厳しくなっています。お米で言えば日本はぱつと、一米は主食として国民の生活を守る生活物資」という位置づけで、政府が生産者から米を買い、消費者には一定の価格で安定的に供給するという形で国民の生活物質であるお米を守つてきました。しかし、そのお米を守る「食糧管理法」が1990年半ばに「改定」され、お米が市場に流通される単なる商品となってしまいました。そうしたこととに見られるように消費者

7/9 組合員活動推進学習会

みんな人と食べれる人のつながりが「食の安全」を守る

なるのです。
食品の事故防止のため、食品防衛・点検・検査は非常に大切です。でも、それよりも大切なのは人の気持ちです。作っている人と食べている人がどう繋がっているのか、どう信頼関係が築けているのかがより良い商品をつくることに、また、事故を未然に防げることになるのではないかと思っています。今後ともパルコープはそういう活動を強めていきたいと思っています。

そうした中でいま、パルコープの役員・幹部もお取引先への訪問、交流を積極的にさせていただいていると思います。

先日、高知県のあるメーカーさんを訪問したとき、社員の方が「生協から注文が一度にきたら、休日も返上して作らないといけないし、しんどい。でも、実際に食べててくれる人が来てくれるから、がんばれる。良いとか、悪いとかいうてくれるとやりがいになる」とおっしゃっていました。「パルコープが良いも悪いもちゃんとと言つてくれるから」と社長様もおっしゃってくれています。自分した仕事をに対して評価しても



になるのです。
食品の事故防止のため、食品防衛・点検・検査は非常に大切です。でも、それよりも大切なのは人の気持ちです。作っている人と食べている人がどう繋がっているのか、どう信頼関係が築けているのかがより良い商品をつくることに、また、事故を未然に防げることになるのではないかと思っています。今後ともパルコープはそういう活動を強めていきたいと思っています。

平和を願って

ピースリレー2009
in 御堂筋

300人以上が参加し沿道へアピール

スタートイベントでは、歌う僧侶・鈴木君代さんのミニコンサートがあり、法衣姿にギターを持ち「イマジン」「一本のえんぴつ」などを歌われました。“軍隊も武器も必要がない”という仏教の教えを歌った「兵戈無用(ひょうがむよう)」では、鈴木さんの歌声に会場が神聖な空気につつまれました。

行進は中之島中央公会堂をスタート、ゴールのなんば元町公園までを「平和」のプラカードや虹色の旗、おそろいのヒマワリの帽子などで色とりどりにアピール。多くのビジネスマンが行き交うお昼の御堂筋を、平和の大切さ、核兵器の廃絶を訴え歩きました。



地域活動委員になったばかりです。楽しく歩けました。ぜひ毎年の恒例行事にしたいです。
寝屋川東地域 森安さん
(写真左から2人目)

今年、地域活動委員になり誘われて来ました。ピースリレーは初参加です。都島北地域 山田さん
(写真左から3人目)



平和募金、署名にご協力ください

パルコープは生協創立以来、「核兵器のない平和な世界と日本」を願う立場から、平和を守る様々などりくみをすすめています。プラハでの米国オバマ大統領の核廃絶へのメッセージを発端に、核兵器廃絶を求める国際的などりくみもすすんでいます。とりわけ、今年は2010年に開催されるNPT(核不拡散条約)再検討会議にむけた大切な年になります。

平和募金

2010年5月にアメリカニューヨークの国際連合で行われる、NPT再検討会議への代表派遣と地域の平和活動に使用します。
●今週配布の8月4回注文書
8/17(月)~21(金)提出で受付をします

署名

NPT再検討会議にむけて「核兵器の攻撃目標の解除と核兵器の廃絶を求める要請書」署名にどりくみます(提出先:国際連合)。
●共同購入 8/10(月)~14(金)配布
●店舗 8月10日から設置
(配送担当者に渡してくださいか、店舗へお持ちください)
●しみきり 12月31日

